

市町村制度融資担当者に聞く

中小企業の未来をひらく

高山村
TAKAYAMA VILLAGE

制度融資

地方創生の流れの中で、地域経済において市町村が果たす役割が、これまで以上に大きくなってきています。本連載では、群馬県内各市町村の、制度融資担当者に登場していただき、制度融資を中心に、中小企業施策全般について、考え方や方向性、具体的な施策等をお伺いします。今回は、高山村地域振興課を訪れ、割田課長にお話を聞いてきました。



GUEST

割田 眞 様

地域振興課
課長



地域振興課の皆さま

上段左から 割田課長、金井補佐、
高山村マスコットキャラクター
「ひかるくん」
山田主任、座木係長
下段左から 武田係長、中山主任

Q. 中小企業施策の基本的コンセプト・考え方等をお教えてください。

高山村は、県北西部に位置し、東は沼田市、南は渋川市、西は中之条町、北はみなかみ町におのおの接しています。南北に1,000メートル級の山々が連なり、東西に日本ロマンチック街道が、南北に旧三国街道が通っています。本村の黎明期は、古代までさかのぼります。その後、戦国時代には、交通の要衝として各所に城が設けられ、城跡・合戦後が現在も残っています。近世になると、越後と江戸を結ぶ三国街道の宿場町として、大いに賑わい、その繁栄は街道が廃止される明治初期まで続きました。明治22年、中山村と尻高村が合併して高山村になり、現在に至ります。

平成28年度より進めていた道の駅「中山盆地」を中心とした村の拠点づくりの一環として、定住促進や少子高齢者対策、交流人口の増加を図るべく緑地広場整備事業として、「高山ふれあいパーク」が、この4月にオープンしました。この広場には、大型遊具を始め、四阿、健康遊具などが設置され、幅広い年齢層の方楽しんでいただける施設となっています。今後、この道の駅を核として、地域の活性化を図れることを期待しています。

村の中小企業施策としては、人口減少や社会情勢の変化、事業承継者問題等により中小企業が減少傾向にある中、経済の基盤となる中小企業を守るべく、制度融資を中心に経営の安定化を支援してきました。

今後も、村、商工会、金融機関等と連携して継続した支援を行うとともに、村の産業である農業を生かした6次産業化による新しい事業者の支援に繋がりたいと考えます。

Q. 中小企業向け制度融資メニューをお教えてください。

本村では、群馬県と連携した小口資金融資制度を実施しています。村内の中小企業者に対して、運転資金、設備資金の融資を行うもので、小口資金を利用している方に対して、保証料補助に加えて貸付利子の一部（2%）を村が補助しています。

主な制度融資の保証実績 (単位: 件、千円)

制度名	年度	保証承諾		保証債務残高	
		件数	金額	件数	金額
小口資金	29年度	1	10,000	8	19,949
	30年5月末	0	0	8	19,048

Q. 制度融資以外の、中小企業や創業者向けの施策を教えてください。

平成28年4月1日に「高山村創業支援事業補助金交付要綱」を制定し、村の産業の振興及び活性化を図るとともに、移住及び定住に寄与することを目的として、村内で起業する事業者に対して、補助金を交付する事業を始めました。

これは、村内で起業する者または1年以内に起業した者の内、対象者及び対象事業の要件に該当する者に対し、事業所開設支援事業、事業所等貸借事業、雇用促進事業の補助対象事業より補助金の交付による支援を行っています。また、同時に借入をされる方に対しては、貸付利子に対して2%を上限に利子補給も行います。

残念ながら、まだこの制度を利用して創業する方はいませんが、今年の4月1日より要綱の一部改正を行い、補助金額は下がるものの、雇用条件を緩和して利用しやすくしました。今後、移住定住相談会や商工会等を通じて周知を行い、創業される方を増やしていきたいと考えます。

Q. 今後の中小企業施策や制度融資に対する思いを教えてください。

人口減少など社会構造の変化や、事業承継者の問題等で中小企業が減少しています。これは、高山村だけでなく、多くの地域で抱えている問題だと思います。

村としても、中小企業の活性化を図るのは、大変重要な問題ととらえています。具体的に何が出来るのかというと、決定的なものはありませんが、道の駅周辺を中心とした整備を進めることにより、交流人口を増やし、地域が活性化されるよう努めていきたいと考えています。

また、制度融資についても、安心した経営が出来るように、関係各所と連携し、充実させていきたいと考えます。